

**“キャプテン翼ゆかりの地”を楽しもう!**

# キャプテン翼

## 銅像めぐりマップ

四つ木 立石

**マップの見方**

- マップには、『キャプテン翼』の特別装飾が施されている四ツ木駅をスタート地点とし、9つの銅像をめぐるおすすめルートを掲載。
- ⑨のマークは、銅像が設置されている場所を示しています。銅像ごとのQRコードを読み取ると、それぞれの設置場所が確認できます。歩行中のスマートフォン等の使用はやめましょう。
- ピンクの網かけは商店街です。

※地図は「葛飾観光ガイドマップ」(2020年3月発行)のデータをもとに制作しています。

**銅像紹介**

- 1 石崎了銅像**  
主人公・大空翼が物語の中で最初に出会う仲間が石崎了。ガツツあふれるプレーでチームに貢献。相手のシュートを弾き返す「顔面ブロック」は彼の代名詞。  
四ツ木駅前ポケットパーク (東四つ木4-15-10先)
- 2 日向小次郎銅像**  
豪快なドリブル突破と強力なシュートを武器とするストライカー。その闘志あふれるプレーから“猛虎”と呼ばれ、「タイガーショット」をはじめ、多くの必殺技を持つ。  
四つ木公園 (四つ木1-16-24)
- 3 大空翼銅像**  
「ボールはともだち」を信条とする大空翼の活躍を描いた作品は、日本サッカーワールドに大きく貢献。海外の有名サッカー選手にも『キャプテン翼』ファンが数多くいる。  
四つ木ばばさ公園 (四つ木1-22-3)
- 4 ロベルト本郷&大空翼銅像**  
元ブラジル代表の日系ブラジル人であり、大空翼にサッカーの魅力や楽しさを伝えたロベルト本郷。物語の序盤で2人は出会い、ロベルトは翼の成長を見守った。  
めだかの小道 (四つ木2-3-3先)
- 5 中沢早苗銅像**  
学ラン姿の応援団長は、大空翼に一目惚れして以来、「ファイト翼くん」の大旗を振ってどんなときでも全力応援。中学時代はマネージャー、将来は妻として翼を支える。  
葛飾郵便局前 (四つ木2-28-1先)
- 6 岬太郎銅像**  
あらゆるプレーを芸術的にこなす“フィールドのアーティスト”。小学生のころから大空翼と高次元の連係プレーを披露し、「ゴールデンコンビ」として注目を集めた。  
渋江公園 (東立石3-3-1)
- 7 大空翼銅像(ヒールリフト)**  
ヒールリフトとは、両足で挟んだボールを背後で浮かせ、かかとで高く蹴り上げて目の前の相手をかわす技術。大空翼の得意技で、作品中の重要なシーンでも使われている。  
立石一丁目児童遊園 (立石1-21-6)
- 8 若林源三銅像**  
大空翼の前に現れる最初のライバルであり、その後はともに日本一を目指す南葛SCのチームメートである。「S.G.K.(スーパークリエイターゴールキーパー)」の異名をとる。  
立石一丁目児童遊園 (立石1-21-6)
- 9 大空翼銅像(ツインシュート)**  
大空翼と岬太郎の「ツインシュート」を再現。高橋陽一先生の母校、東京都立南葛飾高校の校門脇に設置された銅像。翼の相棒としてともにシュートを放とう。  
東京都立南葛飾高等学校正門横 (立石6-4-1)